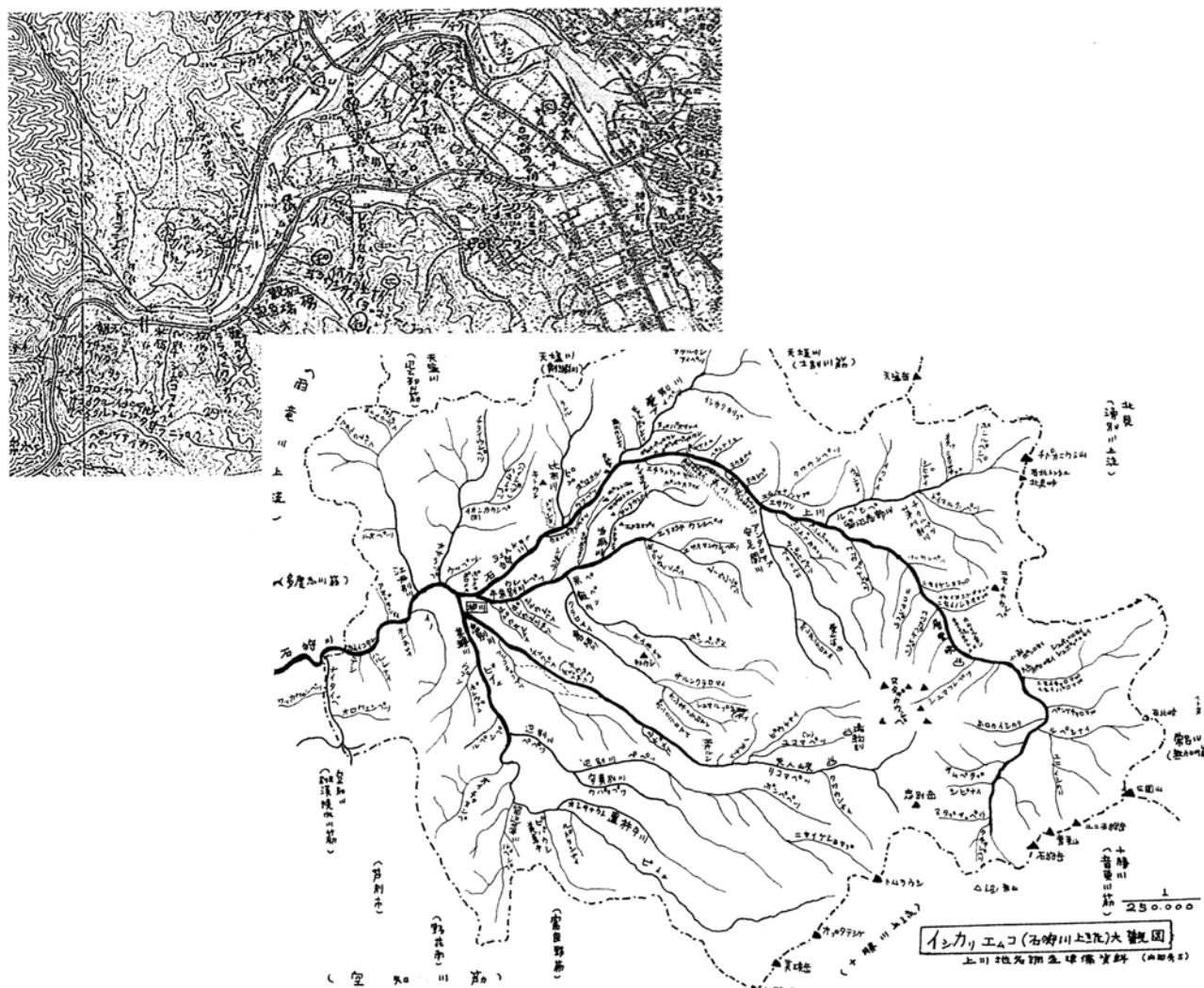


アイヌ民族文化研究センターだより NO.22

2005年3月

もくじ

- | | |
|-------------------------------|--|
| ・ 山田文庫中の旭川地方関係の地図資料より · 1 | ・ 旭川に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究 · · · · · 5 |
| ・ 企画展 アイヌ語地名を歩く · · · · · 2 | ・ 寄贈を受けた資料 · · · · · 6 |
| ・ 平成17年度から公開する資料について · · · 3 | ・ お知らせ · · · · · 8 |
| ・ アイヌ関係の昔の法令を調べたい · · · · · 4 | |



山田秀三文庫中の旭川地方関係の地図資料より

- 上：「旭川／深川」(YM0467-02-01)：5万図「旭川」「深川」を貼合せ、アイヌ語地名などを書き込んだもの。
- 下：「イシカリエムコ（石狩川上流）大観図」(YM0462-02-10)：石狩川上流部の川筋を描き川名など書き込んだもの。「上川地名調査準備資料」と記載がある。

企画展

アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－

■平成17年度は旭川市で開催します

当研究センターは、平成6（1994）年度に、アイヌ語地名研究の第一人者として知られる故・山田秀三氏の研究資料の寄贈を受けました。これを「山田秀三文庫」と名づけて、以来整理作業を進めてきました。

寄贈から10年を経た平成16（2004）年度には、整理作業に一定の区切りがついたことから、「山田秀三文庫」の公開を進めていくことと並行して、資料の展示を行うことにしました。初年度は、札幌市にある北海道立文学館を会場に、同館との共催で「アイヌ語地名を歩く－山田秀三の地名研究から－」と題した企画展を開催しました（下欄）。

* * *

平成17（2005）年度は、この企画展を旭川市博物館で、同館と共に開催します。期日は、7月2日（土）から8月21日（日）までです。

前回と同様、山田秀三氏が地名研究で用いた地図や撮影した写真、調査を記録したファイルなどを中心に紹介するほか、アイヌ文化や北海道の文化財の記録と保存に関する山田秀三氏の足跡などに関する資料も展示します。特に地名

■平成16年度の企画展　たくさんのご来場ありがとうございました

開催期間中（10月30日～11月28日）は、展示、講演会等に2000人を超える入場者がありました。中でも、講演会には会場の定員を上回る申込みがあり、多くの方々の参加をお断りすることになりました。お断りした皆様には、改めてお詫び申しあげます。

この講演会の記録は、今年度の研究紀要に掲載します。参加者及び参加を希望しながら来場できなかった方々のために、その別刷冊子を用意しました。希望する方は、研究センターまでお知らせ下さい（申込み詳細はp.8）。

調査に関する資料については、平成16年度の企画展では札幌とその近郊に重点を置いて紹介しましたが、平成17年度は、開催地である旭川とその周辺を中心に、上川、留萌、宗谷地方の調査資料も紹介します。

期間中には、「山田秀三とアイヌ語地名をめぐって」と題した講演会や、企画展の内容に関連するテーマの連続講座を開催します（日程の詳細はp.8）。このほか、展示内容を解説した図録の発行も予定しています。

* * *

北海道の地名の多くは、アイヌ語に由来しています。山田秀三氏が遺した地名研究資料は、道内各地はもとより、広く東北地方にまで広範囲にあります。このように山田秀三氏の地名研究資料の展示を通じて、多くの皆様にアイヌ語地名研究の奥深さやアイヌ文化を理解していくだければと考えています。

今回の展示期間は、盆や学校の夏休み中に当たりますので、ぜひ多くの方々にご来場いただきたいと思います。



開会式でのテープカット

講演会での質疑応答
(参加者約130名)



公開資料の紹介

平成17年度から公開する資料について

研究センターでは、職員が採録した音声・映像資料と、寄贈を受けた山田秀三文庫及び久保寺逸彦文庫の資料について、整理作業を終え、関係者の許諾を得たものから順次公開を進めています。

平成16年度までに音声資料56点、写真資料483点を公開しています。平成17年度4月には、音声・映像資料を51点公開するほか、山田秀三文庫の写真資料と文書資料の公開を開始します。

研究センター採録資料

調査研究事業の一環として、口承文芸や芸能、生活技術、生活史などのさまざまなテーマのもとに、研究センター職員が各地の伝承者・体験者等から、貴重な伝承やお話を伺った時の記録です。平成16年度までに門別町、平取町、旭川市、白糠町、静内町などで採録した音声資料を公開しています。平成17年度には、鶴川町、三石町、浦河町、幕別町での採録音声資料も加わるほか、映像資料も数点公開する予定です。



音声資料試聴用のCD

山田秀三文庫

アイヌ語地名調査関係の資料から順に公開しています。

平成16年度までに、沙流川下流域や幌別で地名調査を行った時の音声資料を公開しています。平成17年度には、寿都での地名調査の記録などの他、新たに映像資料、写真資料、文書資料を公開します。映像は、山田氏が採録・編集した、平取町二風谷でのアイヌの踊りやカムイノミなどの記録です。写真と文書は、札幌やその周辺地域の資料です。これらは、平成16年度の企画展でも取り上げました。

久保寺逸彦文庫

アイヌ口承文芸やアイヌ民俗調査の資料から順に公開を進めています。

平成16年度までに、前述の山田秀三氏と同時に録音した音声資料や、樺太や北海道で撮影した写真資料を公開しています。平成17年度には、氏が登別、鶴川、穂別、白糠で行った民俗調査などの音声資料を公開する予定です。

利用について

これらの資料は、研究センターの閲覧コーナーにおいて、公開用に作成した複製で視聴や閲覧ができます。写真資料・文書資料はカラーデジタルプリンターからの紙焼きを、音声資料はCDを、映像資料はDVDを、それぞれ利用していただきます。

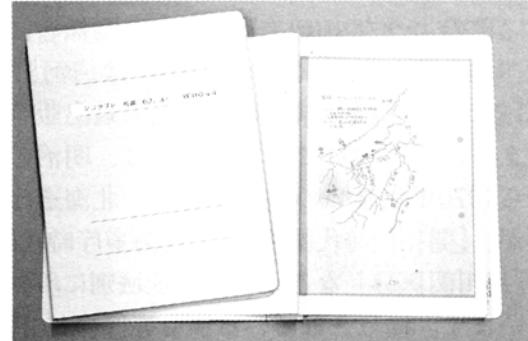
資料は、同コーナーにあるコンピューターや目録を利用して検索することができます。

なお、資料の複写は行っていません。

公開した資料の表題一覧は、次号に掲載するほか、研究センターのホームページにも掲載する予定です。



文書ファイル原資料（左）と
閲覧用の紙焼き（下）



【こんなときは】 アイヌ関係の昔の法令を調べたい

研究センターへの問合せで、比較的多く寄せられているのが、アイヌの歴史や現状に関する資料や情報を求めるものです。今回は、それの中でも、関係する法令にはどのようなものがあるか、その条文や、制定・改正・廃止などの歴史はどのようにして調べることができるか、といったことがらについて述べてみたいと思います。

* * *

ごく近年についてであれば、インターネットや刊行物を通じた行政情報の提供が日本国内でも比較的増えてきたので、それらを利用すると、大抵の法令を確認することができます。

例えば、国立国会図書館がインターネットホームページ上で開設している「日本法令索引」を使うと、現行の法律及び政令・省令のほか、法律については過去に廃止されたものについても、その正式名称、制定年月日などを知ることができます。平成9（1997）年に制定された「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」とその関連する政令等については、国土交通省のホームページや総務省が開設している電子政府のホームページの法令検索などから確認することができます。

北海道の条例・規則についても、総務部法制文書課行政情報センターのホームページから、現行の道の条例・規則を調べることができます。

* * *

これらに比べて、戦前までの法令、特に明治時代の開拓使やその後に北海道に置かれた函館・札幌・根室の三県、そして北海道庁の法令にはどのようなものがあったのかについて詳しく調べようすると、そう簡単ではありません。

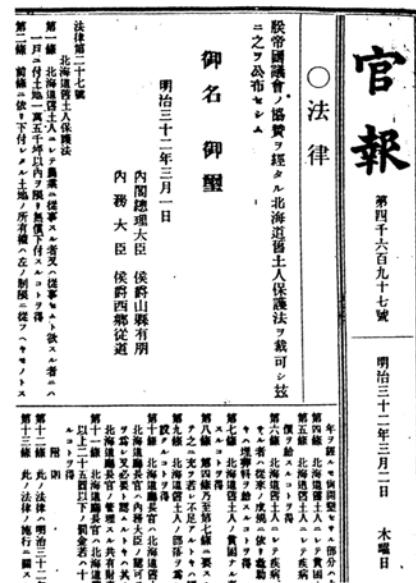
そのような中で、昔のアイヌ関係の法令を調べるときに先ず用いているのは、河野本道編『対アイヌ政策法規類集』（北海道出版企画センター、1981年）です。これには、明治の初年から1970年代までの法律、省令、北海道令などが、「開拓使時代関係分」「北海道庁時代関係分」「旭川関係分」など時代別・地域別に収録されています。掲載されている法令等は約250件で、現

在のところこれに匹敵する同種の資料集は見られません。

ただし、それでもなお収録されていない法令も少なくありません。例えば、明治初期、北海道を開拓使が管轄していた時代は、アイヌの伝統的な生活基盤に大きく関わる法令が多く発せられていますが、上記の『法規類集』は、『開拓使事業報告附録布令類聚』（大蔵省、1885年）という本に収録されたものしか掲載していません。また、法令の表題などを見る限りは特に関係なさそうでも、条文を見ていくと関連する部分がある、といったものもあり掲載されていません。もっとも、これはひとり『法規類集』の不備というよりも、明治以降のアイヌ史に関する調査研究において、関係する法令を洗い出すという基礎的作業が今なお途上にある、ということだと思います。

* * *

近年はこのような課題の克服につながるような、綿密な調査に基づく研究論文もいくつか見られます。また道立文書館では北海道庁設置（1886年）以後の道庁の例規をまとめた資料集を順次刊行するなど、基礎的な仕事が徐々に蓄積されつつあると言えます。当研究センターとしても、このような情報や資料の収集と蓄積に努めたいと考えています。（研究職員 小川正人）



「北海道旧土人保護法」（1899年）が交付されたときの『官報』

研究課題紹介**旭川に伝承されるアイヌの座り歌・踊り歌についての調査研究**

この調査研究は、アイヌの伝統的な音楽について、現在道内各地でどのような曲が伝承されているのかを把握するために、平成11～15年度に実施しました。

アイヌ音楽についての調査は、これまでにも行われています。1961～1962年のNHK札幌中央放送局による「アイヌ伝統音楽」収集整備の成果は、『アイヌ伝統音楽』(日本放送出版協会刊、1965年。以下『伝統音楽』)にまとめられているほか、北海道教育委員会その他による調査の報告もいくつかあります。

こうした既存の資料が示す情報は、今日でも重要なものです、その後の変化などは分りません。そこで、現在の伝承状況を調べ、既存の情報とともに整理していくことが必要になります。そして、それぞれの歌の、歌詞やメロディや歌い方などについて得られた情報を1曲ごとに整理することで、例えば将来その地域のアイヌ音楽に関する研究や伝承や教育活動などに必要な調べものをするときに役立つのではないかと考えました。

* * *

今回の対象地域は、既存の資料で確認できるレパートリー数が多いこと、資料に見られる歌を記憶している世代の人から聴き取り調査ができる可能性のあることなどから、旭川を取り上げました。

アイヌの伝統音楽と一口にいってもそのジャンルは多岐に渡っていますが、公の場で複数で演じるような演目は、単なる個人差というよりは、その地域の特徴を備えたものとして比較的把握しやすいので、「座り歌」(旭川で“ウコウク”と呼ばれる、何人かが円座して歌うもの)と、「踊り歌」(旭川で“ウポポ(ウボボ)”と呼ばれる、比較的大勢が輪になって踊るもの)に、特に焦点を絞ることにしました。

作業はまず、前掲の『伝統音楽』で、旭川市近文で収録した曲や、旭川での伝承曲に特に関連があると思われる曲を全て抽出することから始めました。同書から抽出した「座り歌」「踊り歌」及びその関連曲は60曲以上を数えることが

できました。これと並行して、『伝統音楽』以外の既存資料(特に音声資料)から旭川の伝承であるものを拾い上げる作業も進めました。

こうして上がった曲目一つ一つについて、現在も演じるかどうか、歌えなくても聞いたことがあるかどうかなどを伝承者に尋ねていきます。聴き取りは、70代以上の方々を中心に40～90代の伝承者より行いました。この調査で確認できた曲目は、約80曲に及びました。

ただしこれは、必ずしも『伝統音楽』当時よりも現在の方が単純に数が増えたということではありません。一つには、『伝統音楽』には掲載されていないだけで、伝承は当時から今日まで続いてきたという曲があったと推測できることがあります。さらに、「座り歌」「踊り歌」は、大抵数曲を何人かで交代しながら歌い続け繰り返していくもので、特に「踊り歌」は1曲が短いものが多く、歌う順がある程度固定されると、別々の曲なのかもともと1つの曲なのか、区分しにくい場合もあります。その判断はこの研究の目的ではありませんので、よく分からない場合は別々に数えています。

こうしたことや、実際は記憶がおぼろで歌うのが難しい場合があることを差し引いたとしても、一地域の音楽の、伝承の多様さを具体的に確認できたことは大きな成果でした。同時に、現在よくあるような舞台での上演では、時間の制約などのため、実際には歌う歌が限定されがちだということが、何だか惜しいような気持ちになります。

* * *

この研究調査については、平成17年度に報告書を当センターより刊行する予定です。なお、採録した音声資料は「旭川に伝わるアイヌ文化」と題して、平成15年度より順次公開しています。

(研究職員 甲地利恵)

寄贈を受けた資料

(2004年9月～2005年2月)

発行者の五十音順に資料名を掲載しています。資料を寄贈していただいた方々・機関にお礼申上げます。

アイヌ語地名研究会

・アイヌ語地名研究会会報21号、22号
アイヌ文化振興・研究推進機構

・第8回アイヌ語弁論大会プログラム
・平成16年度 アイヌ語ラジオ講座テキスト Vol.3、Vol.4

アイヌ無形文化伝承保存会

・アイヌ文化 第24号

旭川市博物館

・旭川市博物館研究報告 第1号

朝日新聞社

・週刊朝日 第110巻第2号

朝日町歴史博物館

・江戸期 子ども絵本の世界

アジア・太平洋人権情報センター

・国際人権ひろば No.57、No.58

アレフ

・共生の大地 北海道&ニュージーランド生物多様性シンポジウム

いしかり砂丘の風資料館

・エスチュアリ No.21

『itahcara』第4号編集事務局

・イタハチャラ 第4号

浦幌町立博物館

・浦幌町立博物館紀要 第4号

・浦幌町立博物館年報 第5号

江戸東京博物館

・江戸東京博物館NEWS Vol.47、Vol.48

恵庭市郷土資料館

・恵庭市郷土資料館年報 10

小樽教育地図研究会

・小樽教育地図研究会 大会資料
・実践資料集 アイヌ文化に学ぶ 自然とともに生きる知恵 [改訂版]

小樽市博物館

・小樽市博物館ニュースレター 通巻第39号

小樽商科大学言語センター

・言語センター広報 第13号

市立小樽図書館

・図書館だより しらかば No.210

帯広市教育委員会

・吉田巖資料集 18 帯広叢書第52巻

仮説社

・えぞ地の和人とアイヌ人(板倉聖宣著)

九州歴史資料館

・九歴だより No.20

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター

・京都市立芸術大学日本伝統音楽センター所報 第5号

群馬県立文書館

・群馬県立文書館 文書館だより 第42号

・授業で使える ぐんまの資料

故石本省三氏追悼論集編集実行委員会

・土・酒・海・山：故石本省三氏追悼論集

神戸市立博物館

・博物館だより [神戸市立博物館] No.86

国立印刷局

・月刊世論調査 第35巻第7号

国立公文書館

・アーカイブズ 第17号

国立民族学博物館

・Cultural Heritage of the Nivkh

・国立民族学博物館研究報告 29巻1号、2号

・民博通信 106

彩流社

・風に祈る (富樫利一著)

札幌医科大学医学部年報編集委員会

・年報 2003年

札幌古書籍商組合

・さっぽろの古本屋 第2号

札幌市(札幌市文化資料室)

・札幌の歴史 第47号

札幌市公園緑化協会

・札幌市豊平川さけ科学館 館報 第16号

様似アイヌ語教室

・アイヌ語様似方言ポケット辞典

沙流川歴史館

・沙流川歴史館だより No.15、No.16

滋賀県立琵琶湖博物館

・うみんと 琵琶湖博物館だより 第33号

滋賀大学経済学部附属史料館

・平成16年度企画展 近江商人 中井源左衛門

市民外交センター

・市民外交センター 2003年年次報告書

下妻市ふるさと博物館

・館所蔵民俗資料目録 第11集 手細工・諸職用具

・下妻市ふるさと博物館年報 第6号

・第20回企画展 関連史料集 明治の写真家・藤倉新吉の世界

・第21回企画展 かわってきたくらしの道具

斜里町立知床博物館

・知床博物館研究報告 第25集

・知床博物館第26回特別展図録 活火山・羅臼岳

・博物館のひろば No.90、91

城西国際大学物質文化研究センター

・物質文化研究 第1号

白老町教育委員会

・アイヌ民族に関する教育の充実を求めて

知内町教育委員会

・児童のための伝説集しりうち昔ばなし

世界人権宣言大阪連絡会議

・世界人権宣言大阪連絡会議ニュース No.264～No.269

先住民族の10年市民連絡会

・先住民族の10年 News 第107号～第111号

たきどうん

・種子取祭 竹富島文庫1 (狩俣惠一著)

竹内渉

・野村義一と北海道ウタリ協会

知多市歴史民俗博物館

・大澤鉢一郎展 画家と一人のコレクター

・知多市歴史民俗博物館年報 第5号

千葉大学ユーラシア言語文化論講座

・千葉大学 ユーラシア言語文化論集 第7号

知里森舎

・知里幸恵書誌

天理大学附属天理参考館

・天理参考館報 第17号

・桧野照武氏旧蔵資料目録4 福島県相馬郡・原町市ほか出土品

東京都総務局人権部

・アイヌの人々 文化と伝統を理解するため IV アイヌの言葉

・みんなの人権

東北大学東北アジア研究センター

・東北大学 東北アジア研究センター ニューズレター 第22号、第23号

東北電力株式会社広報・地域交流部

・白い国の詩 通巻577号～582号

遠野物語研究所

・遠野文化誌 第24号、第25号1、第25号2、第27号

とかちエテケンパの会

・とかちエテケンパの会だより 2004年度

徳島県立文書館

・第28回企画展 史料に見る 徳島の自然災害

・第29回企画展 幕末の儒者 新居水竹

・文書館だより 第23号

常呂町教育委員会

・常呂川河口遺跡4

苫小牧駒澤大学環太平洋・アイヌ文化研究所

- ・環太平洋・アイヌ文化研究第4号

長野県立歴史館

- ・善光寺道 街道を行き來した人・物・文化
- ・中世信濃武士意外伝
- ・長野県立歴史館たより Vol.40、Vol.41

名護博物館

- ・あじまあ 名護博物館紀要 12
- ・名護博物館20年の歩み歴史展
- ・ぶりでい 2004 [名護博物館年報20号]
- ・平成15年度 ぶりでい 子ども博物館

浪岡町

- ・浪岡町史 第4巻

奈良県立民俗博物館

- ・奈良県立民俗博物館だより Vol.31 No.1

日外アソシエーツ

- ・個人文庫事典 I 北海道・東北・関東編

沼津市明治史料館

- ・平成16年度第1回企画展図録 天地鳴動 沼津と噴火・地震・津波
- ・沼津市明治史料館通信 Vol.20 No.2、No.3
- ・平成16年度第2回企画展図録 沼津文庫

函館市総務部市史さん室

- ・はこだて市史編さん室だより No.3

反差別国際運動日本委員会

- ・IMADR:JC通信 No.132～No.134

平取町二風谷アイヌ語教室

- ・二風谷アイヌ語教室広報紙第76号

福島県文化振興事業団

- ・福島県歴史資料館 研究紀要 第26号
- ・福島県歴史資料館 平成16年度歴史資料展ふくしまの医学史料
- ・福島県歴史資料館収蔵資料目録 第35集

船橋市郷土資料館

- ・船橋市郷土資料館 資料館だより 第82号、第83号

部落解放・人権研究所

- ・研究所通信 No.313～No.317

文化学園図書館

- ・図書館だより No.137、No.138

文化庁文化財保護部(監修)、第一法規(発行)

- ・月刊文化財 第415号、第493号

平凡社

- ・日本歴史地名大系 歴史地名通信

別海町郷土資料館

- ・別海町郷土資料館だより No.1～No.66

北網圏北見文化センター

- ・北網圏北見文化センター年報 平成15年度

北海学園大学学術研究会

- ・北海学園大学学園論集 第121号、第122号

北海道ウタリ協会

- ・先駆者の集い 第99・100合併号

北海道ウタリ協会釧路地区支部連合会、釧路アイヌ文化懇話会

- ・アイヌモシリ 山本多助エカシ生誕百年記念誌

北海道開拓記念館

- ・2004 要覧
- ・北海道開拓記念館だより Vol.34 No.2、No.3
- ・北海道神宮史料にみる北海道のあゆみ豆本42
- ・北海道の民俗芸能 舞う・囁す・競う

北海道観光連盟

- ・アイヌ文化を理解するための手引き

北海道大学総合博物館

- ・きのこの自然史
- ・復元展示 北大理学部教授室N123 中谷宇吉郎研究室
- ・北大キャンバス 台風18号の爪痕
- ・北大自然史タイプコレクション
- ・第5回企画展示 5億年の進化の歴史 魚類の多様性
- ・北海道大学総合博物館ニュース 9号

北海道大学大学院水産科学研究科・水産学部

- ・北海道大学水産科学研究彙報 第55巻 第1号、第2号

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園

- ・北大植物園研究紀要 第4号
- ・北大植物園資料目録 第4号 アメリカ自然史博物館交換鳥類標本目録
- ・北大植物園資料目録 第5号 所蔵考古資料目録(1)

北海道文化財保護協会

- ・文化情報 第267号～第274号

北海道埋蔵文化財センター

- ・恵山町 恵山貝塚 重要遺跡確認調査報告書第4集
- ・白滝遺跡群IV 北海道埋蔵文化財センター調査報告書195
- ・森町 倉知川右岸遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書196
- ・森町 石倉2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書197
- ・根室市穗香堅穴群(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書198

・森町 本茅部1遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書199

・鹿部町大岩5遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書201

・鶴川町 米原4遺跡(3)・宮戸4遺跡(3) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書202

・恵庭市柏木川13遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書203

・江別市 対雁2遺跡 北海道埋蔵文化財センター調査報告書204

・千歳市 チブニー2遺跡(2) 北海道埋蔵文化財センター調査報告書207

・白滝遺跡群V 北海道埋蔵文化財センター調査報告書210

・テエタ 北海道埋蔵文化財センターだより 第12号、第13号

・北海道立埋蔵文化財センター 年報5

北海道立北方民族博物館

- ・第19回特別展 北の遊牧民 モンゴルからシベリアへ
- ・平成15年度 年報
- ・北方民族博物館だより No.55、No.56

北海道立文書館

- ・赤れんが 北海道立文書館報 No.39

北海道歴史研究会

- ・北海道れきけん 第57号

芽室町教育委員会

- ・芽室町 大成2遺跡 芽室町埋蔵文化財調査報告第3輯

盛岡市先人記念館

- ・盛岡市先人記念館だより No.33

ヤイユーカラの森

- ・Yay Yukar Park 48

吉川信一

- ・アイヌ民族史への試み 一人のシサムとして

立命館大学国際平和ミュージアム

- ・立命館大学国際平和ミュージアムだより 12-1

留萌市海のふるさと館

- ・貝自然の造形のふしき
- ・潮騒留萌市海のふるさと館々報 23号
- ・留萌市海のふるさと館 紀要第15号
- ・留萌市海のふるさと館収蔵資料目録 9生活5

早稲田大学会津八一記念博物館

- ・アイヌ民族の美の世界：土佐林コレクションに見る

中央研究院民族学研究所（台北）

- ・Taiwan Journal of Anthropology
- ・民族学研究所資料彙編 18

行事など

本号2ページでお伝えしたとおり、企画展を次のとおり開催します。7月23日には講演会を行います。

アイヌ語地名を歩く 一山田秀三の地名研究からー

期 間 7月2日（土）～8月21日（日）
9：30～17：00 （展示室入場は16：30まで）
第2・第4月曜日が休館日です。
会 場 旭川市博物館特別展示室
入場料 企画展、講演会、講座とも無料です。

■講演会 「山田秀三とアイヌ語地名をめぐって」

山田秀三氏と親交のあった二人の講師に、氏のアイヌ語地名の研究方法や調査についてお話しいただきます。

講師 萩中美枝氏（アイヌ口承芸術研究者）
佐々木利和氏（文化庁文化財部美術学芸課
主任文化財調査官）
日時 7月23日（土）14：00～16：30
会場 旭川市大雪クリスタルホール大会議室
定員 120名

■講 座

山田秀三氏の研究資料などについて解説します。具体的な内容は、ホームページ等でお知らせします。

日時 7月3日、7月17日、7月31日、8月7日
14：00～15：30
会場 旭川市博物館郷土学習室
定員 各講座とも50名

※ 講演会及び講座への申込みは、それぞれの開催日の一ヶ月前から旭川市博物館で受け付けます。

〈旭川市博物館〉

旭川市神楽3条7丁目（旭川市大雪クリスタルホール内）
電話：0166-69-2004
Eメール：museum@city.asahikawa.hokkaido.jp

平成16年度後半の動き

11月

- 企画展「アイヌ語地名を歩く」（札幌市）
 - 平成16年度運営協議会（札幌市）
- 1月
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会関東部会研究会（東京都／参加：小川）

センターの刊行物

3月までに次の4点を発行しました。このうち『研究紀要』『調査研究報告書』は、道内外の関係諸機関に配布するほか、北海道行政情報センター（北海道庁別館3F／電話011-231-4111内線22-389または011-241-7979）で有償頒布します。

- 『アイヌ民族文化研究センターだより』22号
- 『アイヌ文化紹介小冊子 ポン カンピソシ 10 総集編』（CD-ROM）

これまでの1～9の本文と、新たに写真や音声などを加え、総集編としてCD-ROMに収録したものです。

- 『ピリカ会関係資料の調査研究 アイヌ民族文化研究センター調査研究報告書 1』

今年度より新たに研究紀要の別冊として、中・長期的な調査研究の報告書を刊行します。これはその1冊目で、平成12～15年度に行ったピリカ会関係資料の調査研究の成果をまとめました。

- 『北海道立アイヌ民族文化研究センター研究紀要』11号（以下は表題と執筆者名です）

[論文] 「申渡」のアイヌ語訳文に関する一考察 佐藤知己

[論文] アイヌ語十勝方言の人称接辞'a-'、'an-'の出現条件と例外的事例について 澤井春美

[研究ノート] 近世北海道におけるアットウシ着用の様相 本田優子

[調査報告] ネコに殺されそうになった友人を助けた男の話 大谷洋一

[目録] アイヌ文献目録 2003 アイヌ文献目録編集会

[資料紹介] 豊浦町所蔵のアイヌ資料 福田茂夫・高橋理・古原敏弘

[講演記録] 山田秀三と知里真志保の地名調査 萩中美枝

[講演記録] 山田秀三のアイヌ語地名研究 切替英雄

講演記録の配布について

平成16年11月に開催した講演会の参加者及び参加を希望していた方を対象に、無料で配布します。希望者は、研究センターへ電話でご連絡下さい。なお、配布部数には限りがあるので、残部がなくなり次第配布を終了します。

編集・発行 北海道立アイヌ民族文化研究センター

2005年3月25日

〒060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 5F

Tel.011-272-8801(代) Fax.011-272-8850

月～金／9:00～17:00 (土・日・祝日／休)

<http://www.pref.hokkaido.jp/kseikatu/ks-ambkc/hacrc/hp/index.htm>

